

テックドクターによる症例検討会での助言(佐賀県道路メンテナンス会議)

<概要>

令和6年度 佐賀県道路メンテナンス会議(佐賀県技術検討部会)において、道路施設管理職員の技術力向上や今後のマネジメント(維持管理)等へ展開される事を目的とし、各地公体での症例を基に道路施設の健全度の判定や補修・補強技術など、地公体が悩んでいる案件について助言を受けた。

・開催日: 令和6年7月19日

・参加者: TEC-Doctor(佐賀大学 伊藤教授)、テックシニアーズ、佐賀県内20市町道路部、九州道路メンテナンスセンター、佐賀県、佐賀国道

●テックドクターによる症例検討会での助言

会議・打合せ状況



TEC-Doctor
佐賀大学 伊藤教授

会議後の相談状況



【佐賀市】市道八田城南中線 八田本村橋

事例1: 舗装版を撤去後、床版の判定が変わるような場合(Ⅱ→Ⅲ)の点検・判定区分についての相談

・主桁の配置と橋面舗装のひび割れの位置の重ね合わせで発生源が推測される。舗装の損傷が著しい箇所を選定し、直下の主桁の劣化状況を確認することで、全体の健全性の判定の参考になると思われる。

・今後の点検においては、横締め筋の錆や劣化の状況を注意して点検を行った方がよい。

【有田町】町道東の前・高山下線 高山下橋

事例2: 腐食による橋全体の健全性及び支承部の判定区分等についての相談

・健全性の判断の中で、今後の次回点検までにどれだけ安全性を確保出来るかといったところにも関係してくる。

本路線は多くの学生や観光客が利用するため、より安全な対応が必要。

桁端部の断面欠損により、支承に水の供給が継続される場合は損傷が進行する可能性がある。そのことを踏まえ、支承部の判定区分については「健全度Ⅲ」にも判定出来るのではと考える。

・横桁のソールプレートがほとんど抜け落ちており、下フランジがギリギリ残っている。防食機能が早めに失われたところは腐食が進行する状態になっている。有田町の修繕方針に基づき、計画的な補修をお願いしたい。